

授業科目名・形態	認知症ケア論Ⅱ	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	菅原 聡	開講期	2年後期	単位数	2

【授業の主題】

認知症に関する基礎知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする

【到達目標】

認知症の方を中心にして支援するというパーソンセンタードケアの考え方から、認知症ケアは、個別性を重視した生活支援型ケアが主流になってきている。さらに、認知症の方を社会で支えるために、住み慣れた地域で生活をしていくというサポート体制が創られつつある。様々な生活上の生きづらさをもっておられる方々の心身の状況を学び、ご本人の権利を護り、生活支援を含めたケアのあり方を学習する。具体的にはこれから行われる施設実習時に授業で学んだことを十分活用できるようになることを目標とする

【授業計画・内容】

- 第 1 回 若年性認知症の人の生活の理解と支援
- 第 2 回 認知症の人へのかかわりの基本
- 第 3 回 認知症への気づき
- 第 4 回 認知症の人の介護過程
- 第 5 回 認知症の進行に応じた介護
- 第 6 回 人が生きることを支えるということ
- 第 7 回 地域におけるサポート体制
- 第 8 回 チームアプローチ
- 第 9 回 介護者自身の体験
- 第10回 家族へのレスパイトケア
- 第11回 家族へのエンパワメント
- 第12回 家族会と介護教室
- 第13回 認知症対策と介護保険制度
- 第14回 その他の施策
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

講義内容をしっかり理解し、予習ではなく復習に重点をおいて履修してください。これから行われる施設実習で軽度から重度の認知症の方と接しますので講義で学んだことを充分役立ててください

【主な関連する科目】

高齢者福祉論 地域福祉論

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 認知症の理解(第3版) 中央法規出版

【参考文献】

必要時、資料配布

【成績評価方法】

筆記試験 80%、出席状況 10%、授業態度 10%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

毎日、認知症専門の施設で彼らと生活を共にしている実践者の授業です。認知症の方の心身の状況について共に学び、これからの社会がどうあるべきかを考えていきましょう。積極的な授業参加を期待します。